

第1回化学企画分科会 「情報科学との融合による新化学創成」小委員会 議事録

日時：平成30年9月30日(日) 11:00~15:30

場所：東北大学 東京分室 会議室 A、B

出席者：加藤昌子、菅原洋子、関根千津、所千晴、中村栄一、石原司、上村みどり、川尻喜章、佐藤一彦、杉本邦久、外輪健一郎、高橋孝志、永田賢二、長谷部伸治、船津公人、山下善之、阿尻雅文

欠席者：橋本和仁、茶谷直人、渡辺芳人、伊藤耕三、相田美砂子、君塚信夫、阿久津典子、中川敦史、松原誠二郎、山本浩史

配布資料：

資料 1~13

議事録：

議題1. 今までの議論の確認

議題2. 役員選出

委員の選出を行った。委員長を阿尻雅文、副委員長を山下善之、松原誠二郎、幹事として、阿久津典子、佐藤一彦とすることとした。

議題3. 委員より、提言に向けた意見を紹介いただき、それに基づき議論を行った。

その結果、下記の視点の重要性が指摘された。

- ・DB重視する文化の重要性。
- ・物質の表現形の違いが、化学を変える可能性。
- ・そこでは、有機合成、分析・解析、プロセス工学、情報工学等、他分野の融合した新たな化学、学術がうまれる。人材の流動の重要性。
- ・学術が変われば、教育の在り方が変わる。AI時代に適合する教育。
- ・産業を考えると、その成果活用のためのDB基盤、それを産業技術基盤としていく必要性。
- ・プロセスの視点から、モノづくりの変革。それを支援する学術の重要性。
- ・社会への影響の評価が重要。

議題4. 今後の方針

AI化学の学術の変化と教育

産業基盤化と人材育成

プロセスと人材育成
の各グループで提言案をまとめることとした。

次回は、12月27日、学術会議にて開催することとした。